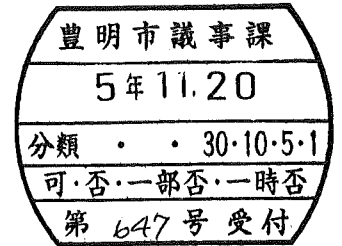


様式第2号

5年 11月 20日

豊明市議会議長 殿



行政等視察報告書

議員名 月岡 修一

令和5年度豊明市議会政務活動費にて下記のとおり行政等を視察しましたので報告します。

年 月 日	視察先	視察項目及び成果等
令和5年10月25日	青森県弘前市	投票率向上につながる投票環境の整備について
令和5年10月26日	岩手県盛岡市	食と農のバリューアップ推進について

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

豊政会 行政視察 青森県 弘前市

「視察項目」

月岡 修一 令和5年10月25日

1 商業施設（ヒロロ）への期日前投票所の設置

(1) 期日前投票所の状況は？

◎ ヒロロは弘前駅前であり市が区分所有する商業施設である。

行政サービスを利用できる公共フロアに期日前投票所を設置した。

(2) 商業施設に期日前投票所を設置したことによる効果は？

◎ 期日前投票所における投票者数は増加傾向にあり、中でもヒロロは最多の期

日前投票者

数となっている。

これは、当該施設が商業施設であることに加え、地理的にも公共交通の結節

に位置していることから、有権者の利便性向上につながっているものと理解

をしている。

2 商業施設（ヒロロ）への共通投票所の設置

(1) 共通投票所の投票率の状況は？

◎ 平成 28 年 4 月公職選挙法改正により、「共通投票所」の設置が可能となる。

(2) 共通投票所による効果は？

◎ 選挙により変動があるものの、各選挙を平均して 1,000 人程度（有権者の約 0.7%）が利用しており、一定の効果を実感している。

(3) 共通投票所設置に要した経費は？

◎ 地方選挙での開設も対象経費の 2/1 が特別交付税として算入されることになった。

(4) 二重投票にならないために、他の投票所とどのように共有しているのか？

◎ 検討課題として選挙人名簿のオンライン化を図り二重投票防止のため、選挙人名簿データと既存の 97 投票所と共通投票所を専用のネットワーク回線で接続することが必要である。

◎ 情報セキュリティの確保 2 要素認証、セキュリティ対策ソフト等の対応が必要。

◎ 端末機等の確保が必要である。

◎ 停電・断線時の対応が必要となる。

◎ 投票所入場券に選挙人名簿をバーコードで読み取ることで瞬時に検索できる。

豊政会 行政視察 岩手県 盛岡市

「視察項目」

月岡 修一 令和5年10月26日

● ～もりおかの食と農のバリューアップ推進戦略について～

盛岡市 農林部農政課 食と農の連携推進室

盛岡市の概要 面積 886・47km²

市の花 カキツバタ 市の鳥 セキレイ 市の木 カツラ

人口 (令和5年9月1日現在) 総数283,447人

世帯数 132,775世帯

美食王国 もりおか

戦略の方向性 (1) もりおかの食と農の基盤となる戦略

1・盛岡産農畜物への愛着や食に対する興味・関心の醸成

2・農商工連携・産学官などの異業種による連携

*この2つは、盛岡の「食と農」を将来にわたり継承し発展させていくさまざまな取り組みの土台として位置づけられている。

戦略の方向性 (2) もりおかの食と農のバリューアップを実現するための事業戦略

3・コミュニティをつなぎ、食と農をベースとした地域の活性化を推進

4・ビジネスを磨き、農業・食産業の強化を推進

● 誇りをもって農業生産に取り組み、品質改善や異業種連携等による新たな商品・サービスの開発・提供といった取り組みに着手することで、売上げや所得の向上を実現している。

「事業者の将来像」

盛岡産農畜産物を自社の「事業推進」に活用し収益を上げている。

「消費者の将来像」

盛岡産農畜産物と、それを使った商品・メニュー等について、愛着を持って消費するとともに、市内外の人に推奨している。

盛岡の農業従事者（単位：人：歳）

女性の農業従事者数（単位：戸）

農業後継者の状況（単位：経営体）

	男女計	女	女性割合		農業経営体数	農業後継者あり
H22	10246	5001	48.8%		3304	2227
H27	7820	3721	47.5%		2781	1547

認定農業者数（単位：経営体）

新規就農者数（単位：人）

	総数	盛岡地区	玉山地区	広域		総数	盛岡地区	玉山地区
H30	279	177	102	—	H30	24	20	4
R1	284	178	106	—	R1	11	9	2
R2	283	176	107	—	R2	25	21	4
R3	289	166	106	17	R3	15	12	3
R4	291	152	104	35	R4	9	8	1

「感想」

将来の人口減少を踏まえ、更には生産農家数の減少を勘案した時に、「現状のままに米を作り、野菜を作り、果樹を作るのは農家の人たちの仕事だ」と言って行政が傍観しているわけにはいかない。そこで盛岡市では「～もりおか食と農バリューアップ推進戦略ついて～として」農業政策は行政の役割でもあるとの意識のもとに重要政策として取り組まれていることがよく理解できました。

盛岡市は自然環境には大変恵まれた風土に在ります。夏には街中の川でアユ釣りができ、秋にはサケの遡上を見ることができます。正にきれいな空気の中で人々も、自然界の一員として安心して生活を営むことができる数少ない都会です。盛岡市は将来的に東北地方の大都市として移住を考える人々の注目の的になるような気がしています。これからの日本の農業政策の最先端を走り他市県、市町のリーダーとしてご指導を賜ることをお願い申し上げまして報告書とさせていただきます。

令和5年11月吉日 月岡 修一 記